

昨年12月に東京で開催された「第12回オールジャパンケアコンテスト」で職員が優秀賞を受賞しました。



オールジャパンケアコンテストは、「介護の質の向上と地域との繋がりを目指して」という理念のもと、介護に携わる人たちが生き甲斐を感じ、知識や技術の向上を高めるとともに、地域、社会において介護への関心と理解を深めるために行われるものです。「看取り」部門で職員大塚篤樹さんが優秀賞に輝きました。

特養版

令和5年 3月号
社会福祉法人聖啓会
特別養護老人ホーム菜の花

美容室再開

外部からの理美容サービスも再開し、皆様ひとときわおしゃれでおきれいです。



スタッフ写真から ご家族様から頂いたお菓子、お福分けをいただきました。お誕生日にご家族様からのお花が届きました



2月15日 華道倶楽部 春らしいストックやミモザなど元気で瑞々しいお花でユニットが華やかになりました。



ガラス越し面会 (再開しています)

館内のコロナウイルス感染は落ち着き、現在感染者はいません。2月10日よりガラス越し面会を再開しています。火曜日・木曜日を除き、1日に2組までの面会をお受けしています。ご予約をお待ちしています。



行事予定：(変更する場合もあります)
毎週金曜日 華道倶楽部
第2・第4火曜日 健康倶楽部
第2・第4水曜日 書道倶楽部
第1水曜日 絵手紙倶楽部

菜の花だより・お知らせ・公開資料は、ホームページからご覧いただけます。
発行：社会福祉法人聖啓会
特別養護老人ホーム菜の花
電話：054-646-7087
http://seikeikai.info/ 編集：中村



↑いただいた賞状と盾
令和5年2月14日のNHK ニッポン知らなかった選手権で「オールジャパンケアコンテスト」が特集され、職員 大塚篤樹さんも「看取りの大塚」としてクローズアップされました。

- 職員のマスク着用継続
- コロナワクチン予防接種
- 再発予防策
- 従来通りの職員の身体状況の把握
- 身体の異常の早期報告。必要時の抗原検査。

コロナ感染予防 施設長 川口節子
3年間近隣施設の感染拡大を何とか免れておりましたが、12月28日入居者様2名の発症を皮切りに、毎日3〜4名に拡大し皆様にご心配をおかけしました事、申し訳なく思っています。
● 再発予防策
従来通りの職員の身体状況の把握
● 身体の異常の早期報告。必要時の抗原検査。
● コロナワクチン予防接種
● 職員、未感染者のみ5回目実施予定

お久しぶりです！
4階7フロアを担当しています大塚です！
看取りの大塚とも言われています。
今回自分は2回目のオールジャパンケアコンテストに参加させて頂きました。
「コロナ禍での事もあり参加するにあたっては自分の中でかなり悩みましたが、前回のコンテストで審査員の方から「次はもっと良い結果を残せるから必ず次も出て欲しい」と言われていたこともあり、施設長の強い推薦もあり、色々な方から背中を押され参加を決意しました。そして、今回のコンテストの内容がテレビに放送され、以前入居されていたご家族、自分に介護を教えて頂いた専門学校時代の校長先生、学年主任、そして手厚く育ててくれた担任の先生や色々な方からのお祝いの言葉を頂きました。
本当に参加して良かったと思います。また、これを機に介護に興味を持っていただけたら幸いです。
ありがとうございます！



2月22日 書道倶楽部

書き初めをしてみました。
姿勢を正しく、大きな字を半紙いっぱい書いてくださいました。



★ 星ユニット特集 ★

職員の皆さん、今年やりたいことは何ですか？

中本恵理
温泉旅行で酒を
ひたすら飲む！

飛騨敏一
入居者様とイベントを
たくさん行いたい

山下哲矢
子供とアンパンマン
ミュージアムに行きたい

塚本正好
釣りを始めようと
思っています

片野明子
体づくりをしたい

千ージエン
家族で旅行に行きたい

2月22日 〇様ご家族様からいただいた「はるみ」みかんと手揉み茶でお茶の会

たくさんのお見事な「はるみ」みかんと、とっておきの手揉み茶で春の香りを楽しみました。
爽やかな春の香りに皆さんの笑顔も溢れ、嬉しいひとときです。和菓子も「黄水仙」と「目白に梅」で早春を愛でました。

見事なはるみみかん、皆で楽しみますよ

ご家族から百歳のお祝いのはがきが届きました☆

藤枝市茶手揉保存会様
貴重な手揉み茶をありがとうございます。

ユニットで「バレーボール」、烏帽子ユニットの「東洋の魔女」たち！

Healing

意味 くほっとする・心と身体の健康を回復・大宇宙に充滿する命

3月のHealingは、桜の蕾ふっくらひな祭りです。

菜の花を襲ったコロナ感染の為、この年末年始は、入居者様、職員はただただ“命を守る”事だけで精一杯でした。生きている事の喜びを実感する余裕もなく夢中の1か月を戦い抜きました。

どんなに大変でも、朝の来ない夜はないと言われるように、皆様は立派な回復力で元気になりました。素晴らしい皆様に敬服致します。

雛祭りは無病息災を願ってお祈りをする行事と言われています。正しく菜の花の今回の災難を払拭すべく、昨年花壇に植えた桜の蕾もふっくらとしてきた暖かな日にフロアではお雛祭りを開催して居ります。やっと今、可愛らしいお雛様を前にして笑顔を取り戻して下さり感謝に堪えません。

今後は桜見物ドライブや桜餅のお茶会などを予定しております。今までの苦しさを払拭できます様に楽しみ満載の春を満喫して参ります。